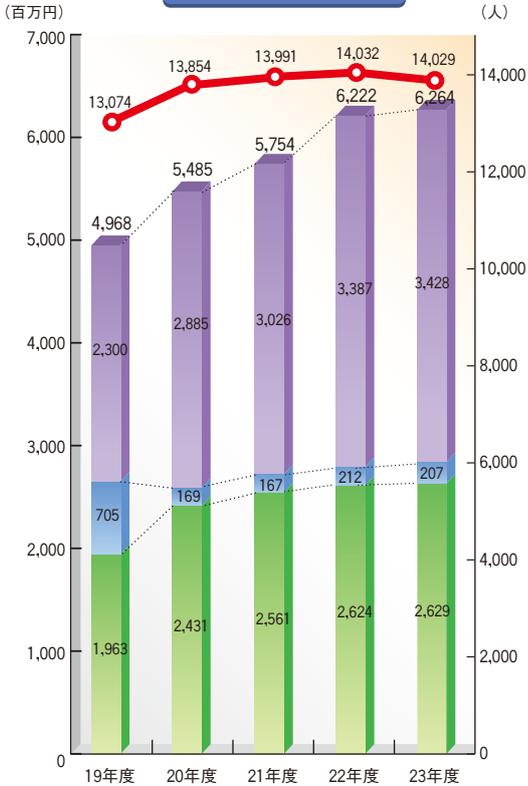


# 矢板市

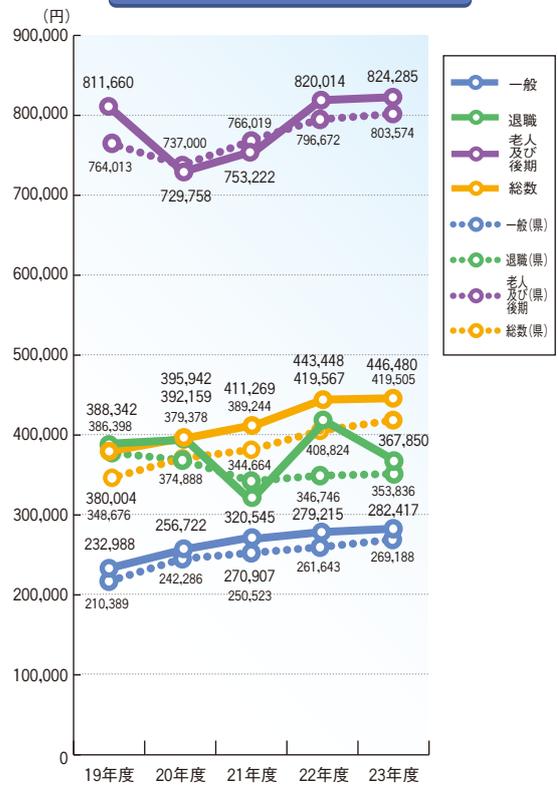
# 矢板市



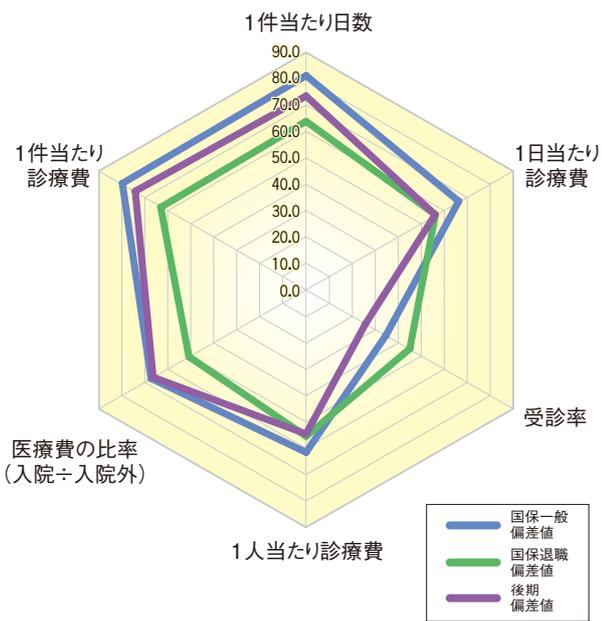
## 医療費の推移



## 1人当たり医療費の推移

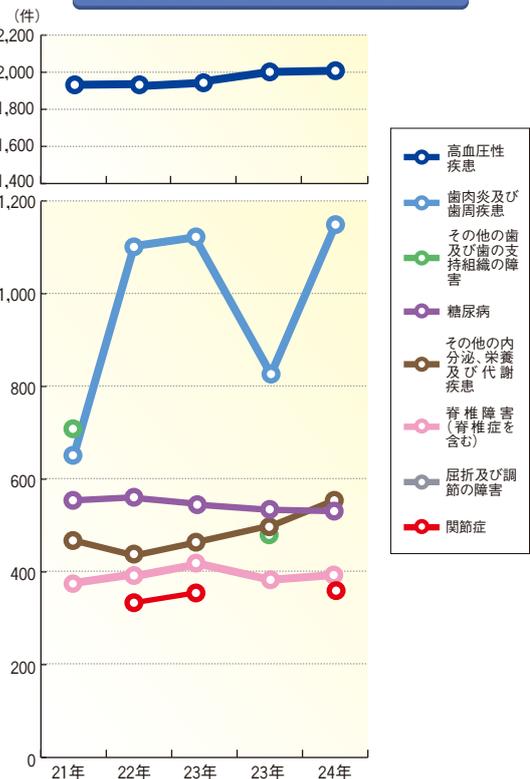


## 平成23年度 3要素と医療費諸費 (県平均との比較)

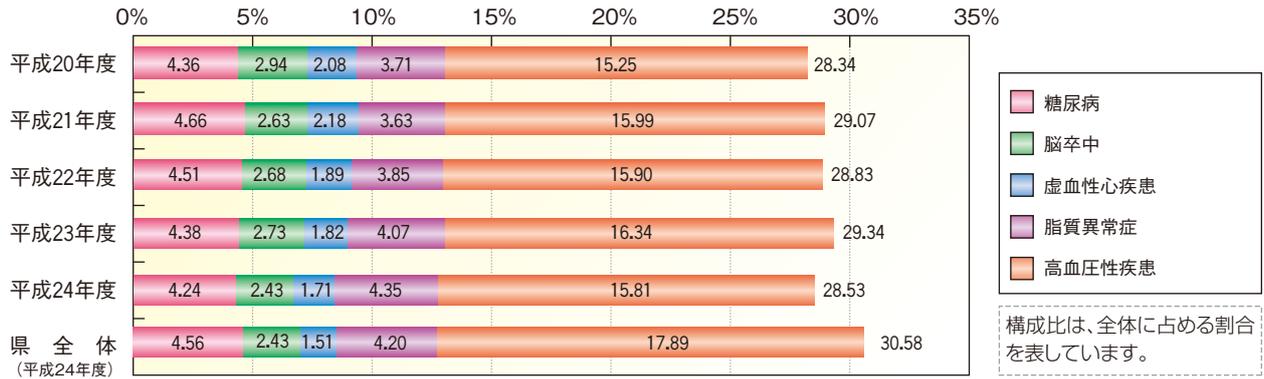


レーダーチャートでは、全ての軸のスケールは偏差値として統一されています。栃木県(平均)が50となるため、値が50の頂点を結ぶ正六角形が栃木県のレーダーチャートになり、当該地域の傾向が正六角形のずれ具合として把握できます。

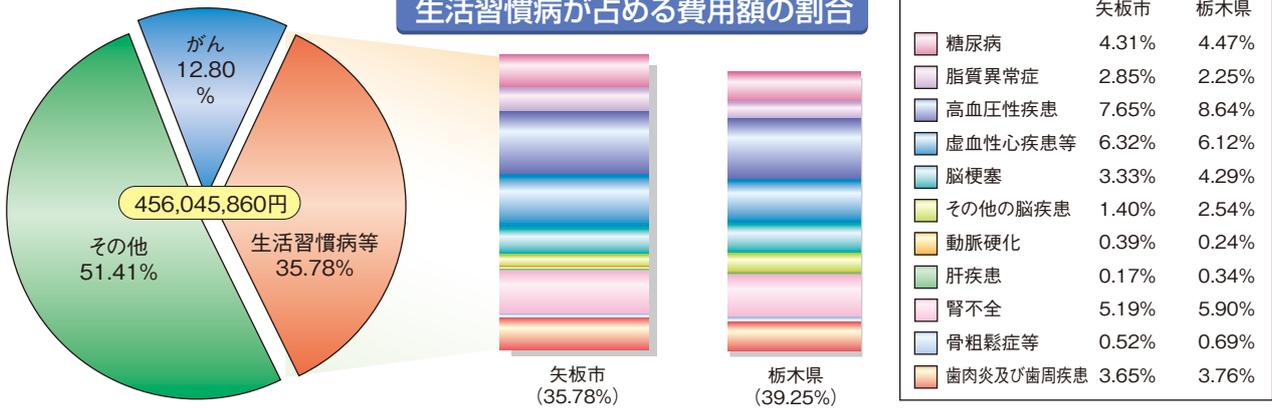
## 多受診疾病上位6位の推移



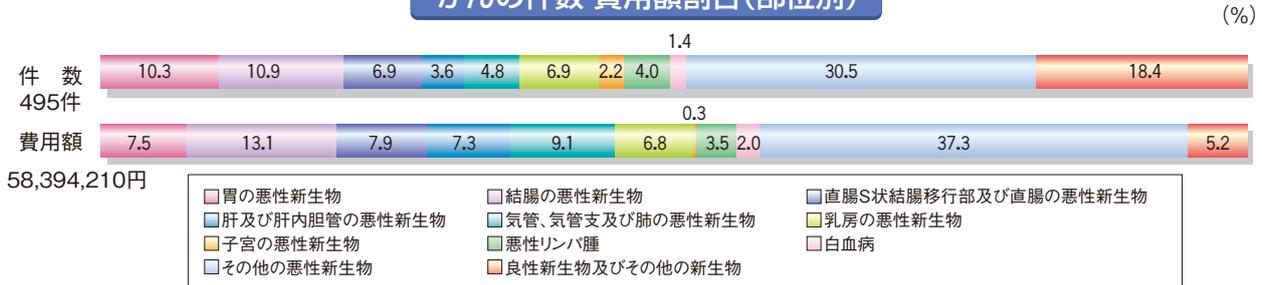
## 生活習慣病5年間の件数の推移(構成比)



## 生活習慣病が占める費用額の割合



## がんの件数・費用額割合(部位別)



## 矢板市の状況

### ★医療費の状況及び被保険者数

平成23年度の医療費(療養諸費)の推移をみると、一般2,628,741千円(100.2%)、退職206,732千円(97.4%)、後期3,428,202千円(101.2%)で、全体では6,263,675千円(100.7%)と増加している。( )は前年度との比較。

平成23年度平均被保険者数は14,029人で、内訳は一般9,308人、退職562人、後期4,159人である。前年度と比較すると全体で99.9%とほぼ変化はない。

また、平成23年度の1人当たり医療費の推移をみると、総数は446,480円(3,032円増)、一般は282,417円(3,202円増)、退職は367,850円(51,717円減)、後期は824,285円(4,271円増)である。( )は前年度との比較。

3要素(受診率、1件当たり日数、1日当たり診療費)と医療諸費の県平均との比較をみると、いずれの法別も受診率以外は全て高い偏差値となっている。

### ★疾病の状況

平成24年5月診療分において件数が多い(多受診)疾病は、1位高血圧性疾患、2位歯肉炎及び歯周疾患、3位その他の内分泌、栄養及び代謝疾患、4位糖尿病、5位脊椎障害(脊椎症を含む)、6位関節症で、6位の関節症は平成20年と比べ件数は1.1倍、費用額は2.3倍になっている。

また、5大生活習慣病(糖尿病・脳卒中・虚血性心疾患・脂質異常症・高血圧性疾患)の件数の推移(構成比)をみると、県全体と比べても低く、特に高血圧性疾患が低い。

生活習慣病が占める費用額の割合では、平成24年5月診療分の総費用額が456,045,860円で、がんが12.80%、生活習慣病関連が35.78%を占めている(県全体 がん11.84%、生活習慣病関連39.25%)。費用額の占める割合が高い疾病は、高血圧性疾患7.65%、虚血性心疾患6.32%、腎不全5.19%となっている。

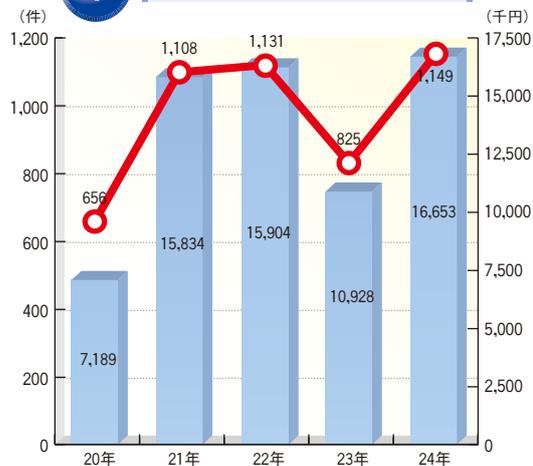
がんの部位別の件数及び費用額の割合では、その他の悪性新生物、良性新生物及びその他の新生物に分類されるものを除き、件数・費用額共に、結腸の悪性新生物が高い割合となっている。

# 多受診疾病 上位6の年次推移

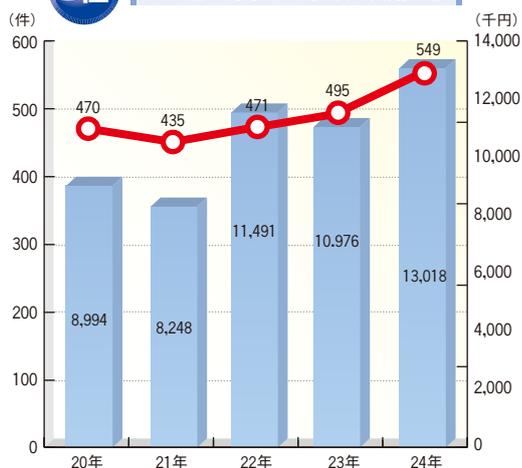
## 1位 高血圧性疾患



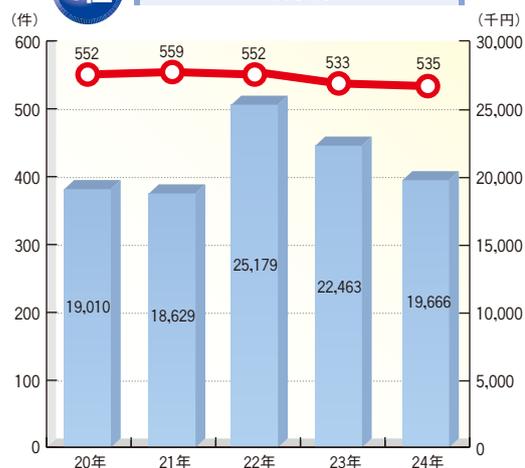
## 2位 歯肉炎及び歯周疾患



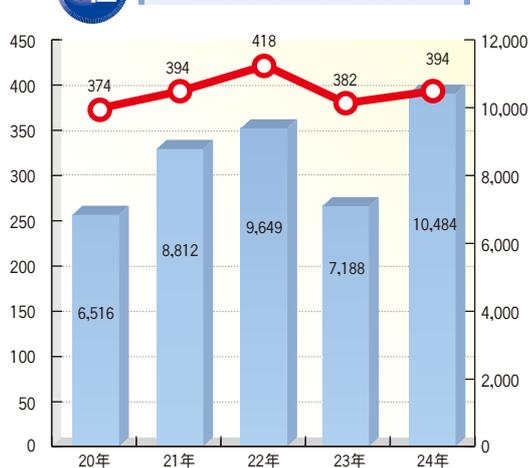
## 3位 その他の内分泌、栄養及び代謝疾患



## 4位 糖尿病



## 5位 脊椎障害(脊椎症を含む)



## 6位 関節症

